

決算審査 特別委員決まる

●認定第1号〜第7号

平成20年度一般・特別会計歳入歳出決算認定7件が委員会付託され、一般会計については、平成20年度一般会計歳入歳出決算審査特別委員会委員が選任されました。12月定例会までの閉会中の特定審査案件として、収入の確保、適正な支出、事業の効果等について審査されます。

決算審査の内容については、12月定例会での議会だよりで詳しくお知らせいたします。

●決算審査特別委員

委員長 鮫島春男
副委員長 中倉広文
委員 坂元正春
岩田秀一
中倉毅
栢山正木
中山美幸
宮本昭一
神崎文男
諸木悦朗

選挙管理委員・ 同補充員決まる

平成21年10月28日をもって任期満了となるもので、次の方々がそれぞれ当選されました。任期は4年間で、平成25年10月28日までです。

選挙管理委員

岡留和美(新調堀)
福永茂(山村)
市坪新悟(中村一区)
橋口貞夫(地心寺)

補充員

原田秀夫(中持留)
肥後修(加治木堀)
川口勝久(中冲中)
新留勝郎(神領町)

陳情2件を採択

▼「甘味資源作物に関する陳情」

▼保険でよい歯科医療の実現を求める意見書を政府に提出することを求める陳情

議会では、陳情の趣旨を妥当と認め、各関係機関に対し、それぞれ意見書を提出しました。

畜産農家と

語る会を開催

9月30日農業振興センターにおいて、町長・議長をはじめ産業建設委員と畜産振興協議会役員並びにJA、そして若い畜産生産者代表者など計31名の出席のもと第2回「畜産農家と語る会」を開催しました。

子牛価格の低迷、生産者の高齢化等畜産を取り巻く厳しい状況の中、本町の子牛のセリ市価格が地区内でも常に最下位であるということから、「どうしたら子牛の平均価格を上げられるのか」をテーマにしたような意見等が出されました。

1. 母牛の年齢が高い、高齢牛から生まれる子牛の飼養管理が雑なのではないか、体の小さい牛が多い。
2. 素牛の導入推進を図るため、10歳以上の母牛から生産される子牛の価格成績表を作成し、指導に活用すべきである。
3. 価格の安い今こそ更新をすべきである。
4. 自家保留牛への補助金を上げられないか。
5. 素牛として、町内産優秀牛以上の導入に力を入れるべきではないか。



子牛セリ市状況

6. 地元の種雄牛を有効活用すべきではないか。
7. 肉の消費拡大に力を入れるべきではないか。
その他若い生産者等からもたくさん活発な意見が出されました。